

(様式第10)

奈医病管第71号

厚生労働大臣 殿

令和 5年 10月 5日
開設者名 公立大学法人奈良県立医科大学
理事長 細井 裕司

奈良県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒634-8521 奈良県橿原市四条町840番地
氏名	公立大学法人奈良県立医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

奈良県立医科大学附属病院

3 所在の場所

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840番地
電話(0744)22-3051

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科		2消化器内科	○	3循環器内科	○	4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
「呼吸器内科」「血液内科」「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」の診療内容は呼吸器・アレルギー・血液内科で、「消化器内科」「代謝内科」の診療内容は消化器・代謝内科で、「内分泌内科」の診療内容は糖尿病・内分泌内科で、「神経内科」の診療内容は脳神経内科で、「感染症内科」の診療内容は「感染制御内科」で、「リウマチ科」の診療内容は整形外科で提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						無	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							
「消化器外科」「乳腺外科」「小児外科」の診療内容は消化器外科・小児外科・乳腺外科で、「内分泌外科」の診療内容は耳鼻咽喉・頭頸部外科で提供している。							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科		11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						無	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							
通常の歯科診療内容は歯科口腔外科で提供している。							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	感染制御内科	2	消化器・代謝内科	3	呼吸器・アレルギー・血液内科	4	脳神経内科	5	消化器外科・小児外科・乳腺外科
6	耳鼻咽喉・頭頸部外科	7	形成外科	8	病理診断科	9	リハビリテーション科	10	糖尿病・内分泌内科
11	腫瘍内科	12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位:床)
108	9	0	0	875	992	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	637	49.6	686.6
歯科医師	22	4.8	26.8
薬剤師	66	6	72
保健師	1	0.9	1.9
助産師	63	0.8	63.8
看護師	1085	17.6	1102.6
准看護師	1	0	1
歯科衛生士	6	0	6
管理栄養士	11	3.3	14.3

職種	員数
看護補助者	34
理学療法士	31
作業療法士	12
視能訓練士	7
義肢装具士	0
臨床工学士	38
栄養士	0
歯科技工士	3
診療放射線技師	60

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	85
	衛生検査技師	1
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	30	
その他の技術員	28	
事務職員	245	
その他の職員	0	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	47	眼科専門医	9
外科専門医	25	耳鼻咽喉科専門医	8
精神科専門医	15	放射線科専門医	11
小児科専門医	15	脳神経外科専門医	11
皮膚科専門医	6	整形外科専門医	39
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	15
産婦人科専門医	12	救急科専門医	6
		合計	228

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (吉川 公彦) 任年月日 令和 2 年 4 月 1 日

医療安全管理責任者(平成30年4月1日～令和2年3月31日)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	630 人	13 人	643 人
1日当たり平均外来患者数	2220 人	108 人	2328 人
1日当たり平均調剤数	4,279		剤
必要医師数	190		人
必要歯科医師数	8		人
必要薬剤師数	21		人
必要(准)看護師数	400		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	人工呼吸装置	心電計	心細動除去装置
集中治療室	579.06 m ²	鉄筋コンクリート	24 床	有	有	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	263.6 m ²	病床数	21 床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	67.9 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	194.6 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	尿検査システム等		
細菌検査室	174.1 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析システム等		
病理検査室	176.7 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	検体搬送システム等		
病理解剖室	266.2 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	電動解剖ノコクリーンカットシステム等		
研究室	1589.4 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	各種 実験・研究装置等		
講義室	460.4 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員	317 人
図書室	1303.1 m ²	鉄筋コンクリート	室数	5 室	蔵書数	143,497 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	95.8	%	逆紹介率	92.4	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		17377		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		20766		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		4162		人
	D: 初診の患者の数		22486		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
水本 一弘	和歌山県立医科大学	○	和歌山県立医科大学附属病院医療安全推進室長であり、医療にかかる安全に関する見識を有するため。	無	1
加藤 高志	加藤高志法律事務所		医療に関する訴訟経験が豊富であり、法律に関する見識を有するため。	無	1
松井 忠昭	ボランティアグループ ラポール		病院の状況への理解が深く、医療を受ける側の立場からの客観的意見を得られるため。	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院ホームページでの公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要 提供実績なし	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	10	56	ベーチェット病	31
2	筋萎縮性側索硬化症	31	57	特発性拡張型心筋症	75
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	27
4	原発性側索硬化症	2	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	18	60	再生不良性貧血	36
6	パーキンソン病	299	61	自己免疫性溶血性貧血	3
7	大脳皮質基底核変性症	10	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	6
8	ハンチントン病	10	63	特発性血小板減少性紫斑病	53
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	4
10	シャルコー・マリー・トゥース病	6	65	原発性免疫不全症候群	12
11	重症筋無力症	91	66	IgA 腎症	141
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	55
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	104	68	黄色靱帯骨化症	11
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	18	69	後縦靱帯骨化症	48
15	封入体筋炎	9	70	広範脊柱管狭窄症	1
16	クロー・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	74
17	多系統萎縮症	24	72	下垂体性ADH分泌異常症	14
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	73	73	下垂体性TSH分泌亢進症	5
19	ライソゾーム病	9	74	下垂体性PRL分泌亢進症	11
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	4
21	ミトコンドリア病	6	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	28	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	18
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	119
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	4	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	45	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	57
30	遠位型ミオパチー	5	85	特発性間質性肺炎	33
31	ベスレムミオパチー	1	86	肺動脈性肺高血圧症	20
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	7
34	神経線維腫症	25	89	リンパ脈管筋腫症	1
35	天疱瘡	17	90	網膜色素変性症	15
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	16	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性胆管炎	85
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	10
40	高安動脈炎	25	95	自己免疫性肝炎	25
41	巨細胞性動脈炎	19	96	クローン病	67
42	結節性多発動脈炎	13	97	潰瘍性大腸炎	182
43	顕微鏡的多発血管炎	62	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	15	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	6	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	10	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	193	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	116	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	83	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	28	107	若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	41	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	18	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	5	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	3	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	12
113	筋ジストロフィー	38	163	特発性後天性全身性無汗症	10
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	2
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	1
118	脊髄髄膜瘤	3	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	2	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	1	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	2
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガスター症候群	2	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	3	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	1	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	1
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	5	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	2	210	単心室症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイトロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	1
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	2
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	6	268	中條・西村症候群	1
221	抗糸球体基底膜腎炎	4	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	101	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271	強直性脊椎炎	9
224	紫斑病性腎炎	12	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	1	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	6	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	4	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	4	283	後天性赤芽球癆	3
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	10
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	2
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシウスブルグ病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メープルシロップ尿症	3	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	2
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膵炎	1
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	23
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	10

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
特定機能病院入院基本料	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
地域歯科診療支援病院歯科初診料	ハイリスク妊娠管理加算
歯科外来診療環境体制加算2	ハイリスク分娩管理加算
歯科診療特別対応連携加算	精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
救急医療管理加算	術後疼痛管理チーム加算
超急性期脳卒中加算	病棟薬剤業務実施加算1及び2
診療録管理体制加算2	データ提出加算2
医師事務作業補助体制加算2 30対1	入退院支援加算1(一般病棟)・3 地域連携診療計画加算、入院時支援加算、総合機能評価加算有
25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割未満) 看護補助体制充実加算有	認知症ケア加算1
看護職員夜間配置加算1 12対1	せん妄ハイリスク患者ケア加算
看護補助加算3(D2病棟のみ) 看護補助体制充実加算有	精神疾患診療体制加算
療養環境加算	精神科急性期医師配置加算1
重症者等療養環境特別加算	排尿自立支援加算
無菌治療室管理加算1及び2	地域医療体制確保加算
放射線治療病室管理加算2	救命救急入院料3・4 算定上限日数、精神疾患診断治療初回加算、救急体制充実加算2、小児加算、早期離床・リハビリテーション加算有
緩和ケア診療加算	特定集中治療室管理料1 算定上限日数、小児加算、早期離床・リハビリテーション加算有
精神科応急入院施設管理加算	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
精神病棟入院時医学管理加算	総合周産期特定集中治療室管理料 成育連携支援加算有
精神科身体合併症管理加算	新生児治療回復室入院医療管理料
精神科リエゾンチーム加算	一類感染症患者入院医療管理料
摂食障害入院医療管理加算	小児入院医療管理料1 プレイルーム加算、無菌治療管理加算1有
栄養サポートチーム加算	精神科救急急性期医療入院料 看護職員夜間配置加算、精神科救急医療体制加算1有
医療安全対策加算1	精神科救急・合併症入院料 看護職員夜間配置加算有
感染対策向上加算1 指導強化加算有	看護職員処遇改善評価料75
患者サポート体制充実加算	
重症患者初期支援充実加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料	医療機器安全管理料(歯科)
遠隔モニタリング加算(心臓ペースメーカー指導管理料)	精神科退院時共同指導料1、精神科退院時共同指導料2
糖尿病合併症管理料	歯科治療時医療管理料
がん性疼痛緩和指導管理料	在宅患者訪問看護・指導料(緩和ケア・褥瘡ケア・人工肛門ケア及び人工膀胱ケア)
がん患者指導管理料イ、ロ、ハ及びニ	遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)
外来緩和ケア管理料	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
移植後患者指導管理料(臓器移植後)、(造血幹細胞移植後)	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
糖尿病透析予防指導管理料	持続血糖測定器加算1及び2
小児運動器疾患指導管理料	遺伝学的検査
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	骨髄微小残存病変量測定
婦人科特定疾患治療管理料	BRCA1/2遺伝子検査 1及び2
腎代替療法指導管理料	がんゲノムプロファイリング検査
下肢創傷処置管理料	先天性代謝異常症検査
外来放射線照射診療料	抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
外来腫瘍化学療法診療料1 連携充実加算	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
療養・就労両立支援指導料 相談支援加算	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
がん治療連携計画策定料	検体検査管理加算(Ⅰ)、検体検査管理加算(Ⅳ)
肝炎インターフェロン治療計画料	国際標準検査管理加算
外来排尿自立指導料	遺伝カウンセリング加算
ハイリスク妊産婦連携指導料1	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
ハイリスク妊産婦連携指導料2	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
こころの連携指導料(Ⅱ)	胎児心エコー法
薬剤管理指導料	ヘッドアップティルト試験
医療機器安全管理料1	人工臓器検査
医療機器安全管理料2	皮下連続式グルコース測定

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
長期継続頭蓋内脳波検査	小児鎮静下MRI撮影加算
長期脳波ビデオ同時記録検査1	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
光トポグラフィー	外来化学療法加算1
終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)	無菌製剤処理料
脳波検査判断料1	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
単線維筋電図	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
神経学的検査	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
補聴器適合検査	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
ロービジョン検査判断料	がん患者リハビリテーション料
小児食物アレルギー負荷検査	歯科口腔リハビリテーション料2
内服・点滴誘発試験	通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)
センチネルリンパ節生検(片側)	通院・在宅精神療法(療養生活環境整備指導加算)
前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	通院・在宅精神療法(療養生活継続支援加算)
経気管支凍結生検法	救急患者精神科継続支援料
有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査	認知療法・認知行動療法1
精密触覚機能検査	精神科作業療法
画像診断管理加算1	精神科ショート・ケア(大規模なもの)、(小規模なもの)
画像診断管理加算2	精神科デイ・ケア(大規模なもの)、(小規模なもの)
遠隔画像診断	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	医療保護入院等診療料
CT撮影及びMRI撮影	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
冠動脈CT撮影加算	硬膜外自家血注入
血流予備量比コンピューター断層撮影	エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)、エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)
外傷全身CT加算	人工腎臓、導入期加算3、腎代替療法実績加算、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
心臓MRI撮影加算	難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
乳房MRI撮影加算	移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
人工臓器療法	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1・2	顎関節人工関節全置換術(歯科診療に係るものに限る。)
皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算算定する場合に限る。)	乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
皮膚移植術(死体)	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
自家脂肪注入	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
処理骨再建加算	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び陰腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	内視鏡下筋層切開術
椎間板内酵素注入療法	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
頭蓋内腫瘍摘出術(脳腫瘍覚醒下マッピング加算を算定する場合に限る。)	腹腔鏡下弁形成術
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的 大動脈弁置換術)、(経皮的肺動脈弁置換術)
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)、脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	腹腔鏡下弁置換術
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)及び経カ テーテルの手術によるもの)に限る。)
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	経皮的中隔心筋焼灼術
舌下神経電気刺激装置植込術	ペースメーカー移植術及び交換術、ペースメーカー移植術及び 交換術(リードレスペースメーカーによるもの)
角結膜悪性腫瘍切除術	両心室ペースメーカー移植術、 両心室ペースメーカー交換術
緑内障手術(流出路再建術(眼内法))及び(水晶体再建術併用 眼内ドレーン挿入術)	植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経 静脈電極除去術
緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペー シング機能付き植込型除細動器交換術
経外耳道の内視鏡下鼓室形成術	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工中耳植込術、人工内耳植込 術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	補助人工心臓
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	経皮的下肢動脈形成術
内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)、(側方)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	人工尿道括約筋植込・置換術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	腹腔鏡下仙骨腔固定術
腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	腹腔鏡下仙骨腔固定手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
腹腔鏡下肝切除術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
生体部分肝移植術	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	体外式膜型人工肺管理料
腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術 胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術
腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	精巣内精子採取術
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	輸血管理料 I
内視鏡的小腸ポリープ切除術	貯血式自己血輸血管理体制加算
腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	自己生体組織接着剤作成術
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	同種クリオプレシピテート作製術
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
同種死体腎移植術	麻酔管理料(I) 周術期薬剤管理加算
生体腎移植術	麻酔管理料(II) 周術期薬剤管理加算
膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	放射線治療専任加算
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	外来放射線治療加算
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	高エネルギー放射線治療

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	文部科学省
難治性消化器癌に対する治療抵抗性克服による新規集学的免疫治療戦略の開発	庄 雅之	消化器・総合外科学	3,800,000	補	文部科学省
術後生活機能障害の5年間追跡調査とプレハビリテーションプログラムの有効性評価	川口 昌彦	麻酔科学	1,800,000	補	文部科学省
小児期栄養環境が形づくる髄鞘構造とその精神症状への効果の検討	牧之段 学	精神医学	3,200,000	補	文部科学省
復帰変異モザイクモデルマウスを用いた表皮細胞の増殖優位性獲得機序の解明	新熊 悟	皮膚科学	3,900,000	補	文部科学省
末梢血循環癌細胞(CTC)のLiquid biopsy標的としての含意探索	澤端 章好	胸部・心臓血管外科学	4,100,000	補	文部科学省
収縮性の保持された心不全の発症・進展機序の解明に関する研究	斎藤 能彦	循環器内科学	4,800,000	補	文部科学省
前頭前野局所回路の数理モデル構築によるニューロモデュレーション作用機序の解明	山室 和彦	精神医学	2,900,000	補	文部科学省
自閉スペクトラム症におけるM2マクロファージ機能不全に着目した病態解明	山内 崇平	精神医学	900,000	補	文部科学省
肺線維症患者に対する間葉系幹細胞療法の臨床応用を目指した有効な新規マーカーの探索	熊本 牧子	呼吸器内科学	300,000	補	文部科学省
間葉系幹細胞シートを用いた神経束移植における新規治療法の確立	田中 康仁	整形外科	800,000	補	文部科学省
DNA修復経路と細胞内物質輸送を標的とした口腔がん治療法の開発	桐田 忠昭	口腔外科学	900,000	補	文部科学省
ナノテクノロジーと分子イメージング技術を融合させた新規IVR治療の開発	西尾福 英之	放射線診断・IVR学	1,300,000	補	文部科学省
冠動脈石灰化結節の進行を予測する冠動脈プラークおよびリン代謝バイオマーカーの同定	渡邊 真言	循環器内科学	600,000	補	文部科学省
循環器病に合併する後天性フォンウィレブランド症候群の診断法・治療戦略の構築	早川 正樹	輸血部	1,100,000	補	文部科学省
ヒト肺気腫における肺泡修復機構をCT画像とマウス実験により評価する手法の確立	室 繁郎	呼吸器内科学	1,000,000	補	文部科学省
活性化プロテインCおよびプロテインS制御による安定化第VIII因子製剤の開発	武山 雅博	小児科学	800,000	補	文部科学省
再生医療工学を応用した新しい潰瘍性大腸炎手術の開発	小山 文一	中央内視鏡部	900,000	補	文部科学省
CD36発現解析による新規腫瘍運動介入療法の開発	赤堀 宇広	消化器・総合外科学	1,000,000	補	文部科学省
プレハビリテーションによる脳虚血後の高次脳機能障害の予防及びその機序に関する研究	恵川 淳二	集中治療部	900,000	補	文部科学省
直腸癌手術における電極付き尿道カテーテルを用いた術中排尿機能モニタリングの検討	阿部 龍一	中央手術部	900,000	補	文部科学省
麻酔関連薬剤の血管内皮グリコカリクスに対する影響および保護物質の検討	西和田 忠	中央手術部	1,200,000	補	文部科学省
血管内皮細胞からARDSの病態を解明する-ヒストン修飾酵素SETDB2の意義-	園部 奨太	集中治療部	900,000	補	文部科学省
膠芽腫に対するNK細胞と新たな免疫チェックポイント阻害の併用療法の開発	松田 良介	脳神経外科学	800,000	補	文部科学省
骨形成細胞シートと生体内誘導骨形成膜の融合による新規骨再生研究	河村 健二	玉井進記念四肢外傷センター	1,100,000	補	文部科学省
ヒト人工多能性幹細胞の酸素濃度に着目した変化の検証と変形性膝関節症の病態解明	稲垣 有佐	リハビリテーション医学	500,000	補	文部科学省

小計 25

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委託元
腎細胞癌に対する5-アミノレブリン酸によるミトコンドリア内鉄利用による抗腫瘍効果	中井 靖	泌尿器科学	800,000	補	文部科学省
間質性膀胱炎の脂質代謝に着目した病態解明と血液バイオマーカー開発	鳥本 一匡	泌尿器科学	700,000	補	文部科学省
HNF1β-USP28-CLASPIN-Chk1阻害に対する合成致死候補の検索	木村 麻衣	産婦人科学	1,000,000	補	文部科学省
子宮腺筋症の重症度を非侵襲的に予測する質的画像診断法の確立	小林 浩	産婦人科学	700,000	補	文部科学省
チョコレート嚢胞の癌化を高い精度で予測する検査法の安全性・有効性の検証	重富 洋志	産婦人科学	800,000	補	文部科学省
偏中心回転刺激時のマウスの眼球運動解析	今井 貴夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	600,000	補	文部科学省
3次元病理診断による潜在的な高悪性度甲状腺癌の抽出	清水 直樹	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	900,000	補	文部科学省
前庭リハビリテーションが静的動的前庭代償に与える効果の基礎医学的エビデンス構築	北原 紘	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	800,000	補	文部科学省
定量評価に基づく顎骨再建シミュレーションと高精度手術デバイスの開発	上田 順宏	口腔外科学	800,000	補	文部科学省
環境因子と高血圧の関連に及ぼす遺伝子因子の影響に関する検討	平田 匠	臨床研究センター	700,000	補	文部科学省
関節リウマチを含む変形性膝関節症の発症メカニズム解明と治療法開発	高木 都	整形外科	1,100,000	補	文部科学省
浸潤性膀胱癌に特異的に発現するマイクロRNAおよび分化マーカーの発現機序の解明	藤井 智美	病理診断学	800,000	補	文部科学省
ナノDDSを応用した腎毒性を低減できる新規ヨード造影剤の開発と体内動態の解明	越智 朋子	放射線診断・IVR学	1,000,000	補	文部科学省
腫瘍内微小環境を考慮したエマルジョンを用いた新規カテーテル治療の開発	田中 利洋	放射線診断・IVR学	600,000	補	文部科学省
血液凝固の第Ⅷ因子制御に基づく血友病A及び血栓性疾患の新規治療薬開発の基礎的研究	野上 恵嗣	小児科学	1,000,000	補	文部科学省
血友病Aインヒビター産生応答を制御する脾臓免疫ニッチの同定	小田 朗永	小児科学	1,000,000	補	文部科学省
Drug RepositioningとLeaky Gut制御による新規肝硬変治療	吉治 仁志	消化器内科学	1,200,000	補	文部科学省
PAD患者下肢動脈血行再建後のサルコペニア改善に関する前向きコホート研究	市橋 成夫	放射線診断・IVR学	1,200,000	補	文部科学省
たこつぼ症候群の発症メカニズム解明を通じた新規心不全治療ターゲットの探索	尾上 健児	循環器内科学	1,200,000	補	文部科学省
DIHSにおけるHHV-6持続感染に着目した自己免疫疾患の発症機序の解明	浅田 秀夫	皮膚科学	1,200,000	補	文部科学省
独自の遺伝子パネル作成によるトリプルネガティブ乳癌の革新的免疫併用治療戦略の構築	池田 直也	乳腺センター	700,000	補	文部科学省
陰部テタヌス刺激による小児術中MEP増幅法の開発	本山 靖	脳神経外科学	1,200,000	補	文部科学省
液体窒素処理による切断肢の長期凍結保存と再接着に関する実験研究	岡田 博	救急医学	1,000,000	補	文部科学省
足部・足関節周囲の筋腱モーメントアームが3次元動態に及ぼす影響の検討	宮本 拓馬	玉井進記念四肢外傷センター	600,000	補	文部科学省
後腹膜肉腫におけるプレジジョン術前補助免疫化学療法法の確立を目指した基盤研究	藤本 清秀	泌尿器科学	1,000,000	補	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
5-アミノレブリン酸による前立腺癌の放射線増感効果と有害事象抑制効果の同時解明	田中 宣道	寄附講座前立腺小線源治療講座	600,000	補	文部科学省
子宮腺筋症の遺伝子発現プロファイルによる分類法の確立	岩井 加奈	産婦人科学	1,900,000	補	文部科学省
骨導超音波を用いた人工内耳のための新しい術前聴力検査の開発	岡安 唯	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,000,000	補	文部科学省
微小動揺を指標としてインプラントの免荷期間を再検証する	堀田 聡	口腔外科学	800,000	補	文部科学省
埋入トルク値がインプラント周囲骨の長期安定性に及ぼす影響および適正トルク値の解明	杉浦 勉	口腔外科学	1,200,000	補	文部科学省
高悪性度口腔癌の再発・転移にかかわる遺伝子の解明	山川 延宏	口腔外科学	2,000,000	補	文部科学省
PXDNIによるがん代謝と微小環境を標的とした口腔癌の治療ストラテジー	栗原 都	口腔外科学	900,000	補	文部科学省
光バイオプシーとリキッドバイオプシーを用いた口腔癌の早期診断システムの開発	松末 友美子	口腔外科学	1,100,000	補	文部科学省
薬剤関連顎骨壊死の発症メカニズムの解明と新規予防法/治療法の開発	柳生 貴裕	口腔外科学	1,200,000	補	文部科学省
抗claudin-4抗体による口腔癌に対する化学療法増強効果	山本 一彦	口腔外科学	1,100,000	補	文部科学省
歯周病と慢性肝疾患病態の関連解明—新たな肝疾患進展予防施策の探索	赤羽 たけみ	消化器内科学	900,000	補	文部科学省
腎臓病進展予防を目指した治療介入アプリの開発	笠原 正登	臨床研究センター	1,300,000	補	文部科学省
糖尿病患者の治療意欲を引き出す新たな行動変容促進アプローチの開発	毛利 貴子	糖尿病・内分泌内科学	1,100,000	補	文部科学省
高機能自閉症者に適した低強度運動プログラムの効果検証	松田 康裕	精神医学	700,000	補	文部科学省
淡水棲マミズクラゲがもつ3つの謎(性決定、芽体形成、生物伝播)の解明に迫る	小林 千余子	生物学	1,300,000	補	文部科学省
オートファジー関連神経筋疾患におけるタンパク質恒常性の破綻機序解明	杉江 和馬	脳神経内科学	1,300,000	補	文部科学省
超高速超音波イメージングを用いた血流解析による頸動脈プラーク不安定性評価	斎藤 こずえ	脳卒中センター	500,000	補	文部科学省
免疫系細胞とヒトIPSニューロン共培養系によるASDの病態解析	鳥塚 通弘	精神医学	1,000,000	補	文部科学省
血友病Aとフォンウィルブランド病治療薬の半減期を規定するクリアランス受容体の探索	荻原 建一	小児科学	900,000	補	文部科学省
抗酸化Nrf2経路賦活によるPBCの病態改善 —ヘスペリジンを用いた新治療—	守屋 圭	消化器内科学	1,100,000	補	文部科学省
血液凝固制御因子ADAMTS13による急性肝不全新規治療法とバイオマーカーの開発	高谷 広章	消化器内科学	1,000,000	補	文部科学省
ネプリリシンの心不全改善効果に寄与する基質の優位性の解明	中川 仁	循環器内科学	1,000,000	補	文部科学省
後天性・血栓性血小板減少性紫斑病の動物モデルの作成	松本 雅則	血液内科学	1,200,000	補	文部科学省
新生児壊死性腸炎の新たな病因および治療:消化管サーファクタントの関与の検討	澤井 利夫	消化器・総合外科学	1,100,000	補	文部科学省
クローン病肛門病変に対する組織工学および免疫制御による新規局所療法の開発	久下 博之	消化器・総合外科学	1,000,000	補	文部科学省

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肝細胞癌に対する血管新生阻害併用免疫療法における耐性機序の解明と新規治療法の開発	安田 里司	消化器・総合外科学	600,000	補	文部科学省
CA9を標的とした膵癌の予後予測と個別化新規治療戦略の開発	寺井 太一	消化器・総合外科学	900,000	補	文部科学省
FFPE標本に対する超高感度微量解析のための革新的cDNA合成法の開発	宮尾 晋太郎	消化器・総合外科学	1,000,000	補	文部科学省
免疫グロブリン膜貫通型糖タンパクNectin-4阻害による大腸癌新規治療法の探求	竹井 健	がんゲノム・腫瘍内科学	1,100,000	補	文部科学省
人工赤血球を用いた人工心臓充填による臓器保護効果	武村 潤一	胸部・心臓血管外科学	2,300,000	補	文部科学省
子宮癌手術中における電極付き尿道カテーテルを用いた排尿機能モニタリングの有用性	大井 彩子	中央手術部	900,000	補	文部科学省
救命救急センターで分離されたESBL産生大腸菌の患者背景と分子疫学的解析	野村 泰充	集中治療部	900,000	補	文部科学省
敗血症の原因菌に対する迅速同定検査法の確立	川井 廉之	救急医学	900,000	補	文部科学省
チェックポイント分子HIF1 α をゲノム編集したNK細胞による膠芽腫治療法の開発	中澤 務	脳神経外科学	1,600,000	補	文部科学省
脳虚血に対する脂肪組織由来幹細胞とエクソソーム治療の基盤的研究	中瀬 裕之	脳神経外科学	1,400,000	補	文部科学省
ミトコンドリアカルシウムユニポーターを介した虚血耐性メカニズムの解明	中川 一郎	脳卒中センター	2,200,000	補	文部科学省
小児大腿骨頭壊死に対する改良骨髄間葉系幹細胞を用いた新規治療法の開発	藤井 宏真	整形外科	1,000,000	補	文部科学省
子宮内膜症に対する酸化的自爆死を誘導する非ホルモン治療法の開発	今中 聖悟	産婦人科学	1,300,000	補	文部科学省
がん関連血栓症における新規卵巣癌マーカーTFPI-2の作用機序の解明	山田 有紀	産婦人科学	800,000	補	文部科学省
新たな腫瘍マーカー組織因子経路インヒビター2による卵巣腫瘍の良悪性の鑑別	松原 翔	産婦人科学	1,300,000	補	文部科学省
eEF1a2をtargetにした卵巣明細胞癌に対する新規治療法の開発	三宅 龍太	産婦人科学	1,100,000	補	文部科学省
新たな磁気共鳴緩和測定法を用いた子宮内膜症関連不妊症の重症度の非侵襲的予知	吉元 千陽	産婦人科学	1,300,000	補	文部科学省
ARID1A遺伝子変異卵巣明細胞癌に対するCDC6による合成致死メカニズムの解明	山中 彰一郎	産婦人科学	1,200,000	補	文部科学省
頭頸部癌患者から作成したスフェロイドを用いたがん微小環境によるEMT誘導の解析	木村 隆浩	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,000,000	補	文部科学省
生体リズムに着目した緑内障患者の新たな眼外・眼内因子の探索：前向きコホート研究	吉川 匡宣	眼科学	1,200,000	補	文部科学省
PIKKファミリー関連DNA修復機構を標的とする新規口腔がん治療戦略	仲川 洋介	口腔外科学	900,000	補	文部科学省
血友病A治療におけるインヒビター発生抑制を標的とした新規第VIII因子製剤の開発	古川 晶子	小児科学	800,000	補	文部科学省
メンブレントラフィックに着目した新たな疼痛メカニズムの解明	寺田 雄紀	麻酔科学	800,000	補	文部科学省
幼少期社会経験が構築する前頭葉－視床室傍核回路の解明	山室 和彦	精神医学	700,000	補	文部科学省
脊髄離断モデルラットに対する骨髄間葉系幹細胞シート移植における移植時期の検討	増田 佳亮	救急医学	800,000	補	文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委託元
ヒト脳オルガノイドを用いた難治性中枢神経疾患の病態解明	江浦 信之	脳神経内科学	1,000,000	補	文部科学省
がん免疫逃避機構からみた肝動脈塞栓術後再発メカニズムの解明と、新規治療戦略の開発	松本 武士	放射線診断・IVR学	1,200,000	補	文部科学省
ABPMおよびBIAを用いた、HFpEFの病態および治療開発にむけた研究	上田 友哉	循環器内科学	1,100,000	補	文部科学省
分子標的治療薬による皮膚障害発症機序の解明	御守 里絵	皮膚科学	700,000	補	文部科学省
インフルエンザウイルス感染重症化におけるヒストン修飾酵素SETDB2の機能解明	今北 菜津子	感染症センター	1,100,000	補	文部科学省
骨髄幹細胞移植と血球除去療法併用による難治性潰瘍性大腸炎に対する新規治療法の開発	定光 ともみ	消化器・総合外科学	700,000	補	文部科学省
Cullin4Aを介した食道癌の進展機序の包括的解明と新規治療戦略の開発	中出 裕士	消化器・総合外科学	600,000	補	文部科学省
人工赤血球投与による脊髄虚血改善に関する研究	平賀 俊	集中治療部	900,000	補	文部科学省
ヘモグロビン小胞体のAKI予防効果についての検討	内藤 祐介	麻酔科学	100,000	補	文部科学省
リゾリン脂質経路の絨毛細胞機能への役割と妊娠高血圧腎症の病理機序の解明	市川 麻祐子	産婦人科学	1,000,000	補	文部科学省
メニエール病発症機序の解明。内リンパ水腫はメニエール病の原因か。	伊藤 妙子	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,000,000	補	文部科学省
網膜色素上皮の色素産生能が加齢黄斑変性発症に与える役割	辻中 大生	眼科学	1,400,000	補	文部科学省
ビスフォスフォネート関連顎骨壊死を予防する塩基性線維芽細胞増殖因子の作用機序解明	今田 光彦	口腔外科学	1,100,000	補	文部科学省
統合失調症者に対する運動課題と認知課題の多重課題プログラムCATの効果検証	木納 潤一	精神医学	200,000	補	文部科学省
虚弱者に対する身体活動量を指標とした新しい筋電気刺激EMS併用リハビリテーション	石田 由佳子	リハビリテーション医学	500,000	補	文部科学省
脳卒中運動麻痺に対する運動負荷を基盤とした脳内メカニズム解析	眞野 智生	脳神経内科学	500,000	補	文部科学省
子宮平滑筋肉腫におけるATRX発現とその機能及び分子機構の解明	内山 智子	病理診断学	900,000	補	文部科学省
腹部大動脈瘤に対するステント内挿術後のMRI画像におけるRadiomics解析	岩越 真一	放射線診断・IVR学	100,000	補	文部科学省
トモシンセシスを用いた新たな大腸癌深達度診断法の確立	伊藤 高広	放射線診断・IVR学	500,000	補	文部科学省
光療法は神経毒性をもたらすか？ピリルビン光学異性体と血液脳関門モデルを用いた研究	内田 優美子	NICU	1,500,000	補	文部科学省
NASHIにおけるエンドトキシンの腸管内吸着を介した肝発癌抑制治療の開発	辻 裕樹	消化器内科学	1,300,000	補	文部科学省
加齢による肝線維化進展促進に関わる新たな因子の同定とその分子学的メカニズム	西村 典久	消化器内科学	900,000	補	文部科学省
心不全患者の心筋組織を用いたβアドレナリン受容体遮断薬の治療反応性予測指標の探索	中野 知哉	循環器内科学	1,200,000	補	文部科学省
ネプリライシンとアンジオテンシン変換酵素による腎臓での塩分ハンドリングと血圧調節	江里口 雅裕	腎臓内科学	1,200,000	補	文部科学省
間断的低酸素が筋細胞においてインスリン抵抗性関連遺伝子発現に与える影響	正島 良悟	脳神経内科学	1,700,000	補	文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
個別化治療を目指した網羅的解析による肺癌再発予測miRNAパネルの開発	西和田 敏	消化器・総合外科学	1,600,000	補	文部科学省
難治性小児固形癌に対する新たな免疫ターゲットの探索と治療法の開発	洲尾 昌伍	消化器・総合外科学	900,000	補	文部科学省
大腸癌肝転移におけるCD200を介した治療抵抗性獲得機構の解明と新規治療法の開発	松尾 泰子	消化器・総合外科学	1,400,000	補	文部科学省
肺癌治療抵抗性関連分子の発現制御による新規集学的治療戦略の開発	長井 美奈子	消化器・総合外科学	600,000	補	文部科学省
ユビキチン修飾系を標的とした新規消化器癌治療法の開発	國重 智裕	中央内視鏡部	1,200,000	補	文部科学省
ヒト人工多能性幹細胞由来の骨形成細胞集合体を用いた再生医療の検討	岡村 建祐	整形外科	1,300,000	補	文部科学省
卵巣明細胞癌におけるARID1A変異に対するCCNE1の合成致死メカニズムの解明	河原 直紀	MFICU	1,500,000	補	文部科学省
味蕾の細胞増殖や維持、再生メカニズムの解明	高橋 佑佳	口腔外科学	900,000	補	文部科学省
神経難病におけるリピート配列に起因する細胞骨格とオートファジー異常の解明	塩田 智	脳神経内科学	1,300,000	補	文部科学省
タンパク質の制御機構からみたALS/FTDの病態解明	七浦 仁紀	脳神経内科学	1,300,000	補	文部科学省
自閉スペクトラム症における文化的自己観の神経基盤	高橋 誠人	精神医学	500,000	補	文部科学省
Lenvatinibによる門脈圧亢進抑制効果の検討	小川 裕之	消化器内科学	1,200,000	補	文部科学省
アルコール性肝発癌の機序とNrf2活性化剤による多面的発癌抑制作用の検討	石田 光志	消化器内科学	1,400,000	補	文部科学省
NADPHオキシダーゼ構成因子p22phoxを標的とした新規心不全治療への展開	中田 康紀	循環器内科学	2,100,000	補	文部科学省
特定健診項目を用いた心不全早期診断アルゴリズムの開発	野木 一孝	循環器内科学	2,500,000	補	文部科学省
近位尿管におけるネプリライシンの存在意義と急性・慢性の腎障害に対する予防効果	西本 雅俊	腎臓内科学	1,300,000	補	文部科学省
包括的凝固線溶解析を基盤とする播種性血管内凝固とCOVID-19の治療戦略の構築	大西 智子	臨床研修センター	700,000	補	文部科学省
BRAF変異大腸癌におけるCD200発現の意義とCD200抗体による治療法の開発	岩佐 陽介	がんゲノム・腫瘍内科学	1,000,000	補	文部科学省
生体吸収性ステントによる消化管縫合不全の新規治療法開発を目指した基礎的研究	尾原 伸作	中央内視鏡部	1,100,000	補	文部科学省
胆膵癌における治療抵抗性獲得機序の解明とその克服による新規集学的治療法の開発	中川 顕志	消化器・総合外科学	1,000,000	補	文部科学省
侵害受容刺激モニターによる手術侵襲度評価の妥当性-バイオマーカーを用いた検討	田中 暢洋	麻酔科学	2,700,000	補	文部科学省
TIGITノックアウトヒトNK細胞を用いた膠芽腫に対する新規治療法の開発	森本 堯之	脳神経外科学	1,100,000	補	文部科学省
人工肩関節置換術後における有限要素法を用いた上腕骨応力変化の検討	井上 和也	整形外科	2,800,000	補	文部科学省
膀胱での尿再吸収機構と夜尿症の病態解明を目指した基礎研究	森澤 洋介	泌尿器科学	1,200,000	補	文部科学省
低リノール酸環境マウスとLPA1受容体ノックアウトマウスの下部尿路機能の変化	後藤 大輔	泌尿器科学	2,000,000	補	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
漿液性卵巣癌における卵管採前癌病変の発癌機序解明	杉本 澄美玲	産婦人科学	1,300,000	補	文部科学省
B細胞機能障害に着目したCOPD増悪の炎症病態の解析	谷村 和哉	呼吸器内科学	1,100,000	補	文部科学省
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究(20FC1035)	浅田 秀夫	皮膚科学	1,900,000	補	厚生労働省
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究(20FC1035)	宮川 史	皮膚科学	1,000,000	補	厚生労働省
日本の輸血医療における指針・ガイドラインの適切な運用方法の開発(20KC1002)	松本 雅則	輸血部	4,000,000	補	厚生労働省
スモンに関する調査研究(20FC2004)	杉江 和馬	脳神経内科学	1,400,000	補	厚生労働省
スモンに関する調査研究(20FC2004)	眞野 智生	脳神経内科学	600,000	補	厚生労働省
血液凝固異常症等に関する研究(20FC1024)	松本 雅則	輸血部	1,300,000	補	厚生労働省
希少難治性筋疾患に関する調査研究(20FC1036)	杉江 和馬	脳神経内科学	1,200,000	補	厚生労働省
HIV感染症および血友病におけるチーム医療の構築と医療水準の向上を目指した研究(21HB2003)	野上 恵嗣	小児科学	2,000,000	補	厚生労働省
肝がん・重度肝硬変の治療に係るガイドラインの作成等に資する研究(H30-肝政-指定-003)	吉治 仁志	消化器内科学	1,500,000	補	厚生労働省
前頭前野マイクロサーキット数理モデル構築によるニューロモジュレーション作用機序の解明	山室 和彦	精神医学	11,700,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
薬剤性間質性肺炎・重症薬疹に関するバイオマーカー候補の適格性確認と規制要件案の作成に関する研究	浅田 秀夫	皮膚科学	3,510,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
抗ADAMTS13阻害抗体による後天性von Willebrand症候群の治療法の開発	松本 雅則	輸血部	70,200,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
特発性心筋症の診療に直結するエビデンス創出のためのAIを活用した自動病理診断システムの開発～希少・分類不能心筋症の自動抽出システムの開発～	尾上 健児	循環器内科学	5,330,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
早期ライフステージにおける前頭前野の髓鞘形成は社会性を制御するののか？	牧之段 学	精神医学	34,413,600	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
世界最大劇症型心筋炎レジストリを用いた長期疫学調査及び予後予測モデルの開発	斎藤 能彦	循環器内科学	7,800,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
肝腎症候群の新たな病態解析と治療開発-血栓性微小血管障害に基づく機序と遺伝子組み換えADAMTS13療法-	吉治 仁志	消化器内科学	14,203,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
慢性めまいの層別化治療と治療装置開発に関する研究	北原 紘	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	6,890,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
遺伝性神経変性疾患に関わるRNA結合タンパク質のアミノ酸変異の相分離異常解析	七浦 仁紀	脳神経内科学	3,250,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
免疫細胞による精神病理の操作を目指して	牧之段 学	精神医学	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
精緻な疾患レジストリーと遺伝・環境要因の包括的解析による糖尿病性腎臓病、慢性腎臓病の予後層別化と最適化医療	鶴屋 和彦	腎臓内科学	2,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
糖尿病性腎症、慢性腎臓病の重症化抑制に資する持続的・自立的エビデンス創出システムの構築と健康寿命延伸・医療最適化への貢献	鶴屋 和彦	腎臓内科学	1,300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
植込型補助人工心臓装着予定患者を対象とした出血性合併症リスクの事前予測に基づいた個別化精密医療・最適化補助人工心臓治療の実現	松本 雅則	輸血部	702,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
HIV関連病態である血友病の豊かな未来を目指した画期的治療法・診断法の創出	野上 恵嗣	小児科学	16,900,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	補
インターフェロンフリー治療がC型肝炎患者の予後を含めたアウトカムに与える影響を明らかにする研究	吉治 仁志	消化器内科学	1,040,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
マルチオミクス連関による循環器疾患における次世代型精密医療の実現	斎藤 能彦	循環器内科学	1,300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性心血管疾患におけるマルチオミクス解析による病態解明と精密医療	尾上 健児	循環器内科学	650,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
精神疾患レジストリの利活用による治療効果、転帰予測、新たな層別化に関する研究	牧之段 学	精神医学	3,250,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
患者レジストリを活用した筋萎縮性側索硬化症治療薬開発のための第2相医師主導治験	杉江 和馬	脳神経内科学	1,300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
SJS/TEN眼後遺症の予後改善に向けた戦略的研究	浅田 秀夫	皮膚科学	1,170,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
液-液相分離の制御と破綻に着目した筋萎縮性側索硬化症の分子機構解明	七浦 仁紀	脳神経内科学	1,300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
AI技術を活用した統合失調症の早期診断医療機器プログラムの開発	牧之段 学	精神医学	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
脳機能障害の malignant loop 抑制手法の開発	牧之段 学	精神医学	23,400,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心不全治療の実用化	尾上 健児	循環器内科学	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
新生児から成人までに発症する特異性血栓症の診療アルゴリズムの確立	野上 恵嗣	小児科学	1,300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
戦略的創造研究推進事業	田村 健太郎	脳神経外科学	2,600,000	委	科学技術振興機構
戦略的創造研究推進事業	岡崎 康輔	精神医学	11,050,000	委	科学技術振興機構
X染色体の不活性化機構を応用した細胞競合モデルマウスの作製	新熊 悟	皮膚科学	3,000,000	補	公益社団法人 日本皮膚科学会
内因性光感受性網膜神経節細胞障害のよる生体リズムの乱れが眼血流へ及ぼす影響	吉川 匡宣	眼科学	3,000,000	補	バイエル薬品(株)
肝胆膵癌に対する新たな免疫治療法の開発	庄 雅之	消化器・総合外科学	800,000	補	ジョンソンエンドジョンソン株式会社
マイクログリアが社会脳形成に与える影響についての研究	小森 崇史	精神医学	1,000,000	補	公益財団法人 大阪難病研究財団
Development of High Performance Factor VIII and Its Application to Hemophilia A Therapeutic Agents	武山 雅博	小児科学	75,000ドル	補	Bayer Consumer Care社
ニューロモデュレーションの作用機序解明とASDモデルマウスへの応用	山室 和彦	精神医学	2,000,000	補	公益財団法人 武田科学振興財団
心腎連関に関わるP1GFとsF1t-1の臨床的意義およびその機序の解明	中田 康紀	循環器内科学	500,000	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
弾性線維の恒常性に関わるγ-グルタミルカルボキシラーゼ(GGCX)の機能解析法の確立	新熊 悟	皮膚科学	500,000	補	加齢皮膚医学研究会
原因不明の心筋症が疑われる患者を専門医療機関に紹介する体制構築のための取り組み	中川 仁	循環器内科学	2,000,000	補	ファイザー株式会社
血友病患者における歯科口腔外科手術の術後出血リスク因子の検証・多施設後向きコホート研究	上杉 謙真	口腔外科学	1,274,000	補	公益社団法人 日本口腔外科学会
真性多血症に伴う後天性フォンウィルブランド症候群の病態解析—ADAMTS13による過剰切断の関与—	久保 政之	輸血部	1,000,000	補	一般社団法人 日本血栓止血学会
タキサン系抗がん剤による黄斑浮腫発症のメカニズム解明とその予防	辻中 大生	眼科学	1,000,000	補	エイエムオー・ジャパン株式会社

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Fujita Y, Yoshikawa M, Yamauchi M, et al	呼吸器内科	Mini Nutritional Assessment Short-Form as screening tool for osteoporosis in patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Asia Pac J Clin Nutr	Journal Article
2	Kataoka H, Obayashi K, Tai Y, et al	脳神経内科	Increased depressive symptoms in Parkinson's disease during the COVID-19 pandemic: Preliminary findings from longitudinal analysis of the PHASE study.	Clin Park Relat Disord	Journal Article
3	Nishimura N, Hori S, Tomizawa M, et al	泌尿器科	Reproducibility of Computed Tomography Volumetry for Predicting Post-Donation Remnant Renal Function: A Retrospective Analysis.	Transplant Proc	Journal Article
4	Yamada S, Asakura H, Kubo M, et al	輸血部	Distinguishing immune-mediated thrombotic thrombocytopenic purpura from septic disseminated intravascular coagulation using plasma levels of haptoglobin and factor XIII activity.	Res Pract Thromb Haemost	Journal Article
5	Wada Y, Shiozaki T, Yamanaka T, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Gravity perception disturbance in patients with unilateral Meniere disease.	Laryngoscope Investig Otolaryngol	Journal Article
6	Minamiguchi K, Nishiofuku H, Saito N, et al	放射線・各医学科	Quantitative Analysis of Signal Heterogeneity in the Hepatobiliary Phase of Pretreatment Gadoteric Acid-Enhanced MRI as a Prognostic Imaging Biomarker in Transarterial Chemoembolization for Intermediate-Stage Hepatocellular Carcinoma.	Cancers (Basel)	Journal Article
7	Takaya H, Namisaki T, Enomoto M, et al	消化器・代謝内科	The Ratio of von Willebrand Factor Antigen to ADAMTS13 Activity: Usefulness as a Prognostic Biomarker in Acute-on-Chronic Liver Failure.	Biology (Basel)	Journal Article
8	Shimonishi N, Ogiwara K, Yoshida J, et al	小児科	Impaired factor V-related anticoagulant mechanisms and deep vein thrombosis associated with A2086D and W1920R mutations.	Blood Adv	Journal Article
9	Sato M, Ida M, Naito Y, et al	麻酔科	Quality of death after elective surgery: a questionnaire survey for the bereaved family.	JA Clin Rep	Journal Article
10	Imazu Y, Matsuo Y, Hokuto D,	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Distinct role of tumor-infiltrating lymphocytes between synchronous and metachronous colorectal cancer.	Langenbecks Arch Surg	Journal Article
11	Hokuto D, Yasuda S, Kamitani N, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Detailed analysis of recurrent sites after wedge resection for primary hepatocellular carcinoma considering the potential usefulness of anatomic resection: a retrospective cohort study.	Langenbecks Arch Surg	Journal Article
12	Tomizawa M, Hori S, Inoue K, et al	泌尿器科	A Low Tacrolimus Concentration-to-Dose Ratio Increases Calcineurin Inhibitor Nephrotoxicity and Cytomegalovirus Infection Risks in Kidney Transplant Recipients: A Single-Center Study in Japan.	Transplant Proc	Journal Article
13	Yasuda S, Hokuto D, Kamitani N, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Pre- and postoperative C-reactive protein as a risk factor of organ/space surgical site infection after hepatectomy.	Langenbecks Arch Surg	Journal Article
14	Nishimura N, Miyake M, Miyamoto T, et al	泌尿器科	The Japanese health care system-based cost-effectiveness of photodynamic diagnosis-assisted transurethral resection of bladder tumor for non-muscle invasive bladder cancer.	Jpn J Clin Oncol	Journal Article
15	Tachibana A, Hori S, Nakai Y, et al	泌尿器科	Effects on Life Expectancy of Treatment Decisions in Patients With Non-metastatic Prostate Cancer.	Anticancer Res	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
16	Matsuda R, Maeoka R, Tokuda N, et al	脳神経外科	Intraoperative Ventricular Opening has No Effect on Complication Development Following BCNU Wafer Implantation for Malignant Glioma.	World Neurosurg	Journal Article
17	Sugiura J, Watanabe M, Nobuta S, et al	循環器内科	Prediction of optical coherence tomography-detected calcified nodules using coronary computed tomography angiography.	Sci Rep	Journal Article
18	Kataoka H, Sugie K	脳神経内科	Persistent intolerable abdominal pain in patients with Parkinson's disease.	Clin Neurol Neurosurg	Journal Article
19	Aoki H, Bitnun A, Kitano T	小児科	The cost-effectiveness of maternal and neonatal screening for congenital cytomegalovirus infection in Japan.	J Med Virol	Journal Article
20	Nakayama Y, Yamakawa N, Ueyama Y, et al	口腔外科	Examination of Suprahyoid Muscle Resection and Other Factors Affecting Swallowing Function in Patients With Advanced Oral Cancer After Surgical Resection and Reconstruction.	J Craniofac Surg	Journal Article
21	Kobayashi H	産婦人科	Recent advances in understanding the metabolic plasticity of ovarian cancer: A systematic review.	Heliyon	Journal Article
22	Takahashi Y, Biller BMK, Fukuoka H, et al	糖尿病・内分泌内科	Weekly somapacitan had no adverse effects on glucose metabolism in adults with growth hormone deficiency.	Pituitary	Journal Article
23	Kawahara N, Kawaguchi R, Maehana T, et al	産婦人科	The Endometriotic Neoplasm Algorithm for Risk Assessment (e-NARA) Index Sheds Light on the Discrimination of Endometriosis-Associated Ovarian Cancer from Ovarian Endometrioma.	Biomedicines	Journal Article
24	Akahane T, Nakanishi Y, Yoshiji H, et al	消化器・代謝内科	Esophagogastroduodenoscopy Screening Intentions During the COVID-19 Pandemic in Japan: Web-Based Survey.	JMIR Cancer	Journal Article
25	Nakai Y, Iemura Y, Miyasaka T, et al	泌尿器科	Clinical Significance of the Highest Regional Bone Scan Index in Patients with Metastatic Castration-Resistant Prostate Cancer.	Nucl Med Mol Imaging	Journal Article
26	Hori S, Nakai Y, Tachibana A, et al	泌尿器科	Clinical significance of limited and extended pelvic lymph node dissection during robot-assisted radical prostatectomy for patients with localized prostate cancer: A retrospective, propensity score matching analysis.	Int J Urol	Journal Article
27	Kitagawa K, Mitoro A, Tomooka F, et al	消化器・代謝内科	Diagnostic yield of liquid-based cytology in serial pancreatic juice aspiration cytological examination.	DEN Open	Journal Article
28	Hashimoto Y, Soeda T, Seno A, et al	循環器内科	Reverse Remodeling and Non-Contrast T1 Hypointense Infarct Core in Patients With Reperused Acute Myocardial Infarction.	Circ J	Journal Article
29	Takeda S, Namisaki T, Tsuji Y, et al	消化器・代謝内科	Initial Experience With Atezolizumab Plus Bevacizumab for Unresectable Hepatocellular Carcinoma: A Real-world Retrospective Study.	Anticancer Res	Journal Article
30	Suga Y, Shigematsu H, Tanaka M, et al	整形外科	Factors associated with the increased risk of atlantoaxial osteoarthritis: a retrospective study.	Eur Spine J	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
31	Fukushima H, Nishioka Y, Kasahara K, et al	救急科	Sensitivity and specificity analyses of COVID-19 screening protocol for emergency medical services: A STARD-compliant population-based retrospective study.	Medicine (Baltimore)	Journal Article
32	Fujimoto Y, Namisaki T, Takeda S,	消化器・代謝内科	Leaky Gut and Severe Adverse Events in Advanced Hepatocellular Carcinoma Treated With Lenvatinib.	Anticancer Res	Journal Article
33	Nishi T, Ueda T, Mizusawa Y, et al	眼科	Effect of foveal morphology on visual acuity in 4-6-year-old children with retinopathy of prematurity: a J-CREST study.	Sci Rep	Journal Article
34	Yagyu T, Furukawa S, Zaizen M, et al	口腔外科	Peri-operative hemostatic management of tooth extraction in patients with hemophilia A, with and without inhibitors, receiving emicizumab prophylaxis.	Haemophilia	Journal Article
35	Sawabata N, Kawaguchi T, Watanabe T, et al	心臓血管外科・呼吸器外科	Pure Solid Pattern of Non-Small Cell Lung Cancer and Clustered Circulating Tumor Cells.	Cancers (Basel)	Journal Article
36	Hirai H, Yamashita M, Matsumoto M, et al	眼科	Alteration of plasma von Willebrand factor in the treatment of retinal vein occlusion with cystoid macular edema.	PLoS One	Journal Article
37	Nishimura T, Okayasu T, Morimoto C, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Evaluation of the Recovery of Idiopathic Sudden Sensorineural Hearing Loss Based on Estimated Hearing Disorders.	Audiol Res	Journal Article
38	Matsuda R, Hasegawa M, Tamamoto T, et al	脳神経外科	Long-Term Survival after Linac-Based Stereotactic Radiosurgery and Radiotherapy with a Micro-Multileaf Collimator for Brain Metastasis.	Curr Oncol	Journal Article
39	Nakase K, Takeshima Y, Konishi K, et al	脳神経外科	Usefulness of the Multimodal Fusion Image for Visualization of Deep Sylvian Veins.	Neurol Med Chir (Tokyo)	Journal Article
40	Shimizu H, Hatakeyama K, Saito K, et al	脳神経内科	Age and composition of the thrombus retrieved by mechanical thrombectomy from patients with acute ischemic stroke are associated with revascularization and clinical outcomes.	Thromb Res	Journal Article
41	Tanaka N, Nakai Y, Asakawa I, et al	泌尿器科	Local dose (biologically effective dose $\geq 180\text{Gy}2$) is an important predictor of biochemical recurrence in patients undergoing low-dose-rate brachytherapy.	Int J Urol	Journal Article
42	Kunishige T, Migita K, Matsumoto S,	消化器外科・小児外科・乳腺外科	The Prognostic Significance of Preoperative Anemia in Gastric Cancer Patients.	In Vivo	Journal Article
43	Fujinaga Y, Namisaki T, Tsuji Y, et al	消化器・代謝内科	Macrophage Activation Markers Predict Liver-Related Complications in Primary Biliary Cholangitis.	Int J Mol Sci	Journal Article
44	Kitagawa K, Mitoro A, Minami R, et al	消化器・代謝内科	Efficacy of a dedicated plastic stent in endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy during the learning curve: cumulative multi-center experience.	Scand J Gastroenterol	Journal Article
45	Kawai Y, Okuda H, Kinoshita A, et al	救急科	Visual assessment of interactions among resuscitation activity factors in out-of-hospital cardiopulmonary arrest using a machine learning model.	PLoS One	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
46	Gotoh D, Torimoto K, Morizawa Y, et al	泌尿器科	Efficacy and safety of dutasteride with tadalafil add-on therapy in patients with lower urinary tract symptoms secondary to benign prostatic hyperplasia.	BMC Res Notes	Journal Article
47	Morita K, Sawabata N, Tatsumi S, et al	病理診断科	Verification of A New Filter for Isolation of Circulating Tumor Cells by Only Blood Filtration.	Anticancer Res	Journal Article
48	Shinohara M, Torimoto K, Matsushita C, et al	泌尿器科	A new nomogram of urinary flow rate and volume based on multiple measurements per healthy adult Japanese men using a portable uroflowmeter (P-Flowdiary).	BMC Urol	Journal Article
49	Miyake M, Miyamoto T, Shimizu T, et al	泌尿器科	Tumor expression of Nectin-1-4 and its clinical implication in muscle invasive bladder cancer: An intra-patient variability of Nectin-4 expression.	Pathol Res Pract	Journal Article
50	Tanaka H, Nishimura F, Nakase K, et al	脳神経外科	Impact of surgical factors on delayed hyponatremia in patients with nonfunctioning pituitary adenoma after endonasal endoscopic transsphenoidal procedure.	Endocrine	Journal Article
51	Hashimoto N, Ogiwara K, Matsumoto T, et al	小児科	Characterization of thrombophilia-related plasmas evaluated by anticoagulants-mediated thrombin and plasmin generation assays.	Blood Coagul Fibrinolysis	Journal Article
52	Hori S, Nakai Y, Tomizawa M, et al	泌尿器科	Trends in primary treatment for localized prostate cancer according to the availability of treatment modalities and the impact of introducing robotic surgery.	Int J Urol	Journal Article
53	Fujii T, Takeda M, Uchiyama T, et al	病理診断科	Identification of fusion transcripts in sarcoma from archival formalin-fixed paraffin-embedded tissues: A next-generation sequencing approach.	Pathol Int	Journal Article
54	Mano T, Kinugawa K, Fujimura S,	脳神経内科	The Lateralization of Resting Motor Threshold to Predict Medication-Mediated Improvement in Parkinson's Disease.	Brain Sci	Journal Article
55	Nishiyama A, Ogiwara K, Mizumachi K, et al	小児科	Activated partial thromboplastin time-based clot waveform analysis enables measurement of very low levels of factor IX activity in patients with severe hemophilia B.	Int J Hematol	Journal Article
56	Miyake M, Iida K, Nishimura N, et al	泌尿器科	Site-specific Risk Stratification Models for Postoperative Recurrence and Survival Prediction in Patients with Upper Tract Urothelial Carcinoma Undergoing Radical Nephroureterectomy: Better Stratification for Adjuvant Therapy.	Eur Urol Open Sci	Journal Article
57	Kawai Y, Takano K, Miyazaki K, et al	救急科	Association of multiple rib fractures with the frequency of pneumonia in the post-resuscitation period.	Resusc Plus	Journal Article
58	Iwata E, Shigematsu H, Yamamoto Y, et al	整形外科	Temporal Evolution of White Blood Cell Count and Differential: Reliable and Early Detection Markers for Surgical Site Infection Following Spinal Posterior Decompression Surgery.	Spine Surg Relat Res	Journal Article
59	Kurokawa H, Kosugi S, Fujinuma T, et al	整形外科	Evaluation of Subtalar Joint's Compensatory Function in Varus Ankle Osteoarthritis Using Globally Optimal Iterative Closest Points (Go-ICP).	Foot Ankle Orthop	Journal Article
60	Kobayashi H, Yamada Y, Kawaguchi R, et al	産婦人科	Tissue factor pathway inhibitor 2: A potential diagnostic marker for discriminating benign from malignant ovarian tumors.	J Obstet Gynaecol Res	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
61	Kawaratani H, Miyaaki H, Hiraoka A, et al	消化器・代謝内科	The Usefulness of the Athens Insomnia Scale for Evaluating Sleep Disturbance in Patients with Chronic Liver Disease Comparing with Pittsburgh Sleep Quality Index and Epworth Sleepiness Scale.	Medicina (Kaunas)	Journal Article
62	Nogami K, Taki M, Matsushita T, et al	小児科	Clinical conditions and risk factors for inhibitor-development in patients with haemophilia: A decade-long prospective cohort study in Japan, J-HIS2 (Japan Hemophilia Inhibitor Study 2).	Haemophilia	Journal Article
63	Kataoka H, Nanaura H, Kiriya T, et al	脳神経内科	Prognostic Factor for Subacute Encephalitis with First-Episode Psychosis.	Eur Neurol	Journal Article
64	Maeoka R, Nakagawa I, Saeki K, et al	脳神経外科	Decline in the Incidence of Chronic Subdural Hematoma During the Coronavirus Disease 2019 Pandemic: A Retrospective Single-Center Descriptive Study.	Front Neurol	Journal Article
65	Nakano T, Onoue K, Terada C, et al	循環器内科	Transthyretin Amyloid Cardiomyopathy: Impact of Transthyretin Amyloid Deposition in Myocardium on Cardiac Morphology and Function.	J Pers Med	Journal Article
66	Yamanaka S, Kawahara N, Kawaguchi R, et al	産婦人科	The Comparison of Three Predictive Indexes to Discriminate Malignant Ovarian Tumors from Benign Ovarian Endometrioma: The Characteristics and Efficacy.	Diagnostics (Basel)	Journal Article
67	Yamanaka S, Miyake R, Yamada Y, et al	産婦人科	Tissue Factor Pathway Inhibitor 2: A Novel Biomarker for Predicting Asymptomatic Venous Thromboembolism in Patients with Epithelial Ovarian Cancer.	Gynecol Obstet Invest	Journal Article
68	Yamamoto Y, Naito Y, Nakatani H,	麻酔科	Relationship Between Preoperative Alcohol Consumption and Postoperative Nausea and Vomiting in Liver Resection: A Propensity Score Matched Analysis in a Single Institute.	Asian J Anesthesiol	Journal Article
69	Miyake M, Kikuchi E, Shinozaki K, et al	泌尿器科	Real-world treatment patterns and clinical outcomes of Japanese patients with non-muscle invasive bladder cancer receiving intravesical bacillus Calmette-Guérin treatment.	Int J Urol	Journal Article
70	Morizawa Y, Satoh H, Arai M, et al	泌尿器科	Urodynamics findings pre- and post-untethering surgery in children with filum lipoma: A single-institution experience.	Int J Urol	Journal Article
71	Tsukamoto S, Mavrogenis AF, Akahane M,	整形外科	Risk factors of fracture following curettage for bone giant cell tumors of the extremities.	BMC Musculoskelet Disord	Journal Article
72	Sasaki T, Yang CY, Nakagawa K, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Safety and Feasibility of Single-incision Laparoscopic Distal Pancreatectomy.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech	Journal Article
73	Okamoto A, Takeshima Y, Yokoyama S, et al	脳神経外科	Prevalence and Clinical Impact of Cervical Facet Joint Degeneration on Degenerative Cervical Myelopathy: A Novel Computed Tomography Classification Study.	Neurospine	Journal Article
74	Yoshimura T, Furukawa S, Oda A, et al	小児科	Longitudinal profiling of anti-factor VIII antibodies in Japanese patients with congenital hemophilia A during factor VIII replacement and immune-tolerance induction therapy.	Int J Hematol	Journal Article
75	Takeda Y, Sakakibara T, Ogiwara K, et al	小児科	Blood coagulation dynamics during adrenocorticotropic hormone therapy in pediatric patients with infantile spasms.	Brain Dev	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
76	Okamura A, Okura H, Iwai S, et al	循環器内科	Incidence and prognostic impact of the calcified nodule in coronary artery disease patients with end-stage renal disease on dialysis.	Heart Vessels	Journal Article
77	Namisaki T, Tsuji Y, Kitade M, et al	消化器・代謝内科	Endotoxin Activity Reflects an Increase in Body Temperature in Cirrhotic Patients With Ascites Undergoing Cell-free and Concentrated Ascites Reinfusion Therapy.	In Vivo	Journal Article
78	Nishikawa D, Hanai N, Ozawa T, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Role of Human Papilloma Virus and Lifestyle Factors in Overall Survival of Patients with Oropharyngeal Squamous Cell Carcinoma.	Medicina (Kaunas)	Journal Article
79	Nakamura-Nishimura Y, Shinkuma S, Miyagawa F, et al	皮膚科	Immunogenicity of varicella-zoster virus vaccine by different routes of administration: Comparable vaccination efficacy of one-fifth dose intradermal vaccination to conventional subcutaneous vaccination.	J Dermatol Sci	Journal Article
80	Hashimoto N, Ogiwara K, Shimonishi N, et al	小児科	Screening of the protein C pathway abnormality-related thrombophilia by using thrombomodulin-mediated tissue factor-triggered clot waveform analysis.	Eur J Haematol	Journal Article
81	Tsushima H, Samejima KI, Eriguchi M, et al	腎臓内科	The association of 5-year therapeutic responsiveness with long-term renal outcome in IgA nephropathy.	Clin Exp Nephrol	Journal Article
82	Miyake M, Nishimura N, Ohnishi S, et al	泌尿器科	Association between urine 6-sulfatoxy-melatonin level and intravesical Bacillus Calmette-Guerin treatment-induced sleep quality deterioration in patients with non-muscle invasive bladder cancer.	Support Care Cancer	Journal Article
83	Ida M, Naito Y, Tanaka Y, et al	麻酔科	Factors associated with functional disability or mortality after elective noncardiac surgery: a prospective cohort study.	Can J Anaesth	Journal Article
84	Tatsumi S, Takeuchi M, Fujii T, et al	病理診断科	Evaluation of DNA/RNA quality from cell block of malignant mesothelioma and lung adenocarcinoma.	Diagn Cytopathol	Journal Article
85	Kotani T, Inoue S, Kawaguchi M	麻酔科	Perioperative Dental Injury Associated With Intubated General Anesthesia.	Anesth Prog	Journal Article
86	Kubo M, Sakai K, Hayakawa M, et al	輸血部	Increased cleavage of von Willebrand factor by ADAMTS13 may contribute strongly to acquired von Willebrand syndrome development in patients with essential thrombocythemia.	J Thromb Haemost	Journal Article
87	Torimoto K, Ueda T, Kasahara M, et al	泌尿器科	Identification of diagnostic serum biomarkers for Hunner-type interstitial cystitis.	Low Urin Tract Symptoms	Journal Article
88	Nagai M, Nakagawa K, Nishiwada S, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Clinically Relevant Late-Onset Biliary Complications After Pancreatoduodenectomy.	World J Surg	Journal Article
89	Matsuo Y, Hokuto D, Yasuda S, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Impact of laparoscopic liver resection on liver regeneration.	Surg Endosc	Journal Article
90	Shigematsu H, Tanaka M, Kawasaki S, et al	整形外科	Surgery Can Improve Locomotive Syndrome Due to Lumbar Spinal Canal Stenosis and Loco-Check Can Predict Best Timing of Surgery to Avoid Progress of Locomotive Syndrome.	Spine Surg Relat Res	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
91	Morita S, Taniguchi A, Miyamoto T, et al	整形外科	The Long-Term Clinical Results of Total Talar Replacement at 10 Years or More After Surgery.	J Bone Joint Surg Am	Journal Article
92	Onishi T, Shimonishi N, Takeyama M, et al	小児科	The balance of comprehensive coagulation and fibrinolytic potential is disrupted in patients with moderate to severe COVID-19.	Int J Hematol	Journal Article
93	Mitsui Y, Ogawa K, Koga K, et al	皮膚科	Trichilemmal cysts with proteinaceous material: A potential diagnostic pitfall.	J Cutan Pathol	Journal Article
94	Sasaki T, Nishiwada S, Nakagawa K, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Integrative analysis identifies activated anti-tumor immune microenvironment in lung metastasis of pancreatic cancer.	Int J Clin Oncol	Journal Article
95	Hori S, Tomizawa M, Yoneda T, et al	泌尿器科	Clinical and emotional factors for the acceptance or refusal of deceased-donor kidney transplantation in patients on waiting lists during the coronavirus disease 2019 pandemic.	Int J Urol	Journal Article
96	Terasaki S, Kanaoka K, Nakai M, et al	循環器内科	Outcomes of catecholamine and/or mechanical support in Takotsubo syndrome.	Heart	Journal Article
97	Kimoto S, Hashimoto T, Berry KJ, et al	精神科	Expression of actin- and oxidative phosphorylation-related transcripts across the cortical visuospatial working memory network in unaffected comparison and schizophrenia subjects.	Neuropsychopharmacology	Journal Article
98	Okamura A, Okura H, Iwai S, et al	循環器内科	Detection of myocardial bridge by optical coherence tomography.	Int J Cardiovasc Imaging	Journal Article
99	Kyodo A, Okura H, Okamura A, et al	循環器内科	Incidence and Characteristics of Incomplete Stent Apposition in Calcified Lesions: An Optical Coherence Tomography Study.	Cardiovasc Revasc Med	Journal Article
100	Matsumoto S, Wakatsuki K, Nakade H, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Impact of CT-assessed changes in tumor size after neoadjuvant chemotherapy on pathological response and survival of patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Langenbecks Arch Surg	Journal Article
101	Kawaguchi C, Hokuto D, Yasuda S, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Advantages of skin closure with subcuticular suture for liver resection on postoperative and cosmetic outcomes: a propensity matched analysis.	Langenbecks Arch Surg	Journal Article
102	Nishimura N, Hori S, Tomizawa M, et al	泌尿器科	Relevance of the perioperative edema index measured by bioelectrical impedance analysis for prediction of cardiovascular disease in living-donor kidney transplantation.	Int J Urol	Journal Article
103	Enomoto M, Takaya H, Namisaki T, et al	消化器・代謝内科	Ratio of von Willebrand factor antigen to ADAMTS13 activity is a useful biomarker for acute-on-chronic liver failure development and prognosis in patients with liver cirrhosis.	Hepato Res	Journal Article
104	Matsumura Y, Yamanaka T, Murai T, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Orthostatic hemodynamics in the vertebral artery and blood pressure in patients with orthostatic dizziness/vertigo.	Auris Nasus Larynx	Journal Article
105	Nishikawa T, Suzuki H, Takeuchi M, et al	病理診断科	A study on preserving endometrial glandular architecture during preparation using BD SurePath選1 liquid-based cytology reagents: Cellular fixation with preservative fluid requires at least 187・h.	Cytopathology	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
106	Shigetomi H, Imanaka S, Kobayashi H	産婦人科	Effects of iron-related compounds and bilirubin on redox homeostasis in endometriosis and its malignant transformations.	Horm Mol Biol Clin Investig	Journal Article
107	Ugajin A, Iwakoshi S, Ichihashi S, et al	放射線・核医学科	Prediction of Abdominal Aortic Aneurysm Growth After Endovascular Aortic Repair by Measuring Brachial-Ankle Pulse Wave Velocity.	Ann Vasc Surg	Journal Article
108	Nishida T, Takitsume A, Sugiura J,	循環器内科	Catheter ablation of ganglionated plexi in patients with adenosine triphosphate-induced atrial fibrillation after pulmonary vein isolation.	Heart Vessels	Journal Article
109	Kitagawa K, Mitoro A, Ozutsumi T, et al	消化器・代謝内科	Laser-cut-type versus braided-type covered self-expandable metallic stents for distal biliary obstruction caused by pancreatic carcinoma: a retrospective comparative cohort study.	Clin Endosc	Journal Article
110	Kitaguchi M, Ida M, Naito Y, et al	麻酔科	Associated factors with umbilical arterial pH after cesarean delivery under spinal anesthesia: a retrospective cohort study.	Braz J Anesthesiol	Journal Article

小計5件/
合計110
件

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1					
2					
3					

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを入力すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準拠すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 委員会の構成、責務、審査とその判定、審査書類の準備と手続き、事務局業務について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 目的、適用範囲、利益相反管理委員会、自己申告書の提出、委員会における審査等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年19回
・ 研修の主な内容 臨床研究法その他適用法令等に基づき行われる臨床研究の実施の際に必要な倫理的知識等の習得（適用法令の概要、被験者保護、統計解析、知財等）	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科が総合的な臨床力を重視するとともにさまざまな専門医養成コースを準備しており、複数科連携プログラムも稼働している。このため各人がそれぞれのニーズに合わせてキャリアデザインを組むことが可能となっている。
内科各科の連携は密接で内科合同カンファレンスを定期的を開催するとともに、総合内科専門医養成コースを設けている。
さらに、附属病院として、緩和ケアを含むがん薬物療法および放射線治療に関する知識・技術を修得した総合的ながん専門医を養成するためのプログラムを策定し、「がん薬物療法専門医」養成コースも設けている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	132人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
渡邊 真言	循環器内科	准教授	26年	
室 繁郎	呼吸器・アレルギー・血液内科	教授	34年	
吉治 仁志	消化器・代謝内科	教授	36年	
杉江 和馬	脳神経内科	教授	28年	
庄 雅之	消化器外科・小児外科・乳腺外科	教授	32年	
中瀬 裕之	脳神経外科	教授	40年	
細野 光治	心臓血管外科	教授	28年	
田中 康仁	整形外科	教授	39年	リウマチ科も兼ねる
川口 龍二	産婦人科	准教授	26年	
緒方 奈保子	眼科	教授	40年	
野上 恵嗣	小児科	教授	32年	
牧之段 学	精神科	准教授	21年	
浅田 秀夫	皮膚科	教授	39年	
藤本 清秀	泌尿器科	教授	36年	
北原 紘	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	31年	内分泌外科も兼ねる
田中 利洋	放射線・核医学科	病院長	27年	
浅川 勇雄	放射線治療科	病院長	25年	
川口 昌彦	麻酔科	教授	35年	
西尾 健治	総合診療科	教授	41年	
桐田 忠昭	歯科口腔外科	教授	40年	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
福島 英賢	救急科	教授	27年	
笠原 敬	感染制御内科	病院教授	24年	
桑原 理充	形成外科	病院教授	27年	
城戸 顕	リハビリテーション科	病院教授	32年	
大林 千穂	病理診断科	教授	40年	
澤端 章好	呼吸器外科	准教授	34年	
鶴屋 和彦	腎臓内科	教授	32年	
高橋 裕	糖尿病・内分泌内科	教授	25年	
武田 真幸	腫瘍内科	教授	22年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況 ※対象外のため記載なし
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名		
管理担当者氏名		

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病院管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管している。 ・2007年に電子カルテを導入しており、それ以前の紙カルテは、病歴保管庫で保管。なお最終来院日から10年未受診の患者の紙カルテは、診療科に確認の上、順次廃棄を行っている。また、紙媒体で生成される各種検査資料及び同意書等については、原則、電子印章付きのスキヤナで取り込み、電子データを原本として電子カルテに保存している。 ・診療録の院外への持ち出しについては診療録取扱内規により禁止されている。
		各科診療日誌	医療情報部	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	医療情報部	
		看護記録	医療情報部	
		検査所見記録	医療情報部	
		エックス線写真	医療情報部	
		紹介状	医療情報部	
退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部			
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	各種データ（又は帳冊）
		高度の医療の提供の実績	各診療科	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科	
		高度の医療の研修の実績	各診療科	
		閲覧実績	実績なし	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療情報部 地域医療連携室	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部 経営企画課	各種データ（又は帳冊）
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理室	各種データ（又は帳冊）
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療技術センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全推進室 医療技術センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全推進室 医療技術センター	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全推進室 医療技術センター			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全推進室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全推進室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全推進室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課及び医療安全推進室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課及び医療安全推進室
		監査委員会の設置状況	病院管理課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全推進室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全推進室 病院管理課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療相談室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全推進室 人事課
		職員研修の実施状況	医療安全推進室
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全推進室
管理者が有する権限に関する状況	人事課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	経営企画課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務広報課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 吉川 公彦
閲覧担当者氏名	経営企画課長 樋口 浩史、医療サービス課長 岩本正彰、病院管理課長 村井 裕司、医療相談室長 瀬川 直樹
閲覧の求めに応じる場所	各執務室
閲覧の手続の概要 「公立大学法人奈良県立医科大学個人情報取扱規程」を準用した開示(閲覧)手続による。 (診療録等個人情報を含む場合) 1. 開示(閲覧)請求 ↓ 2. 法人内部での決裁 ↓ 3. 総合窓口(奈良県 総務部 法務文書課)への協議 ↓ 4. 決定 ↓ 5. 開示(閲覧)	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 医療事故の予防・再発防止対策並びに発生時の適切な対応など、本院における医療安全管理体制を確立し、適切かつ安全で質の高い医療サービスの提供を図ることを目的とする。 主な内容は、①医療安全管理体制の構築（医療安全管理委員会及び医療安全推進室の設置、医療安全推進活動、患者相談窓口の設置等）、②院内報告制度の構築、③職員に対する安全教育・研修、④医療事故発生時の対応方法の確立、⑤医療事故の公表等。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（ 有・無 ） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容： 医療安全推進室の活動報告及び審議等の承認。 主な内容は、①医療安全管理に関する重要案件の審議、②医療安全管理のための基本方針の策定及び変更に関する事、③医療事故等の分析と安全管理に係る改善策に関する事、④医療事故調査委員会の審議結果を受けた再発防止に向けての検討に関する事、⑤管理委員会で立案された改善策の実施並びに実施状況の調査及び見直し等。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	e-ラーニングのみ
<p>・ 研修の内容（すべて）：5テーマのうち2テーマ以上受講で受講完了 医療安全と臨床倫理 医療紛争に備える インシデント報告（CLIP）①操作方法 インシデント報告（CLIP）②集計報告 呼吸数測定的重要性</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ①事故報告 院内報告制度の構築、医療事故発生時の対応方法を確立している。 重大なインシデントが発生した時はインシデントホットライン（24時間対応）で医療安全推進室に連絡が入り医療安全推進室は病院幹部の情報共有を図る。 発生所属はその後、電子カルテ内のインシデント報告システムにより背景や経緯等詳細を報告。 ②その他 院内全部署あてに、医療機能評価機構が発行する「医療安全情報」を配付するとともに、医療安全推進室で医療安全管理に関する重要事項について「医療安全ニュース」を作成して配信。 また、インシデント・アクシデントのうち原因の究明が必要な課題や複数の所属が連携して取り組む必要のあるものについては、分析・対策検討会議で関係所属と医療安全推進室が連携して原因を分析、対策を立案、実行、検証、見直しを行っている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： ①院内感染対策に関する基本的考え方、②感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項、③院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針、④感染症の発生状況の報告に関する基本方針、⑤院内感染発生時の対応に関する基本方針、⑥患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針、⑦その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針等、その他感染対策を推進するために必要な基本方針を記載している。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：活動の主な内容：病院長、感染症センター長、感染管理室長、看護部長、薬剤部長、中央臨床検査部長、病院経営部長、ICD、ICNなど職種横断的に構成しており、委員は21名。毎月1回開催している。また、耐性菌の検出状況や抗菌薬適正使用に係る活動内容及び使用量の状況報告、状況、針刺し事故事例、医療関連感染事例や、従業員に対する研修の実施状況などを定例報告として提示している。 本委員会では医療関連感染事例の対応や本指針、感染対策に関するマニュアル等の制定・改廃の承認について等の院内感染対策にかかる事項について、審議および意思決定を行っている。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年5回
<p>・ 研修の内容（すべて）：研修の内容（すべて）：職員に感染対策として周知・徹底したい知識や情報等をテーマとして、全職員対象に研修を実施している。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からE-learningの受講を推奨しつつ、MRSAの水平伝播の拡大を未然に防ぐべく、「MRSAの感染制御」について院外講師を招聘し、年度末に集合研修を実施した。Office365のSharePointを活用し、感染対策関連のコンテンツは3種類（集合研修の内容を含む）、抗菌薬の適正使用に関する内容は2種類、合計5種類のコンテンツをアップロードした。受講対象となる職員にはE-learningの受講を推奨しているが、インターネット環境が整っていない職員を対象に救済措置として動画視聴研修を（集合研修にて）開催することで全職員2回以上受講率100%を継続している。 未受講者をなくす取り組みとして、所属長、ICT委員宛とし、定期的に未受講者一覧を配布することで年間2回以上受講するよう啓蒙を図っている。 またこれとは別に、新規採用および中途採用職員には入職時に人事課と協働で研修会（動画視聴またはE-learningにて対応）を開催し、参加できない職員にはOffice365のSharePointを活用したE-learningでの受講にて、当院における感染対策に関する基礎知識の定着と感染対策の推進を行っている。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容：病院長を含む病院運営協議会のメンバーを中心とした感染防止委員会（ICC委員会）および医師、看護師、コメディカル、事務等の各所属から代表者を選出して構成するICT委員会をそれぞれ月1回開催し、院内における感染症の発生状況やその対策について報告し、周知徹底を行っている。 さらに、これらのメンバーを中心としたメンバーリストを作成しており、「感染対策週報」として感染管理室長から毎週メールを配信することにより、当院における感染症発生状況を中心に、県内における感染症発生状況等の情報発信と情報共有を行っている。また、感染管理室員による週2回の環境ラウンド（集中ラウンド・全病棟ラウンド）、抗菌薬ラウンド（毎日）、耐性菌ラウンド（耐性菌検出時）、ICTミーティング（毎日）、ASTミーティング（毎日）など様々な方策で感染対策および抗菌薬適正使用に係る、推進・充実に向けた取り組みを行っている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> eラーニング：令和4年10月17日より、『「散薬処方Tips」～問い合わせが薬局からなぜかかってくるのか～』について散薬の倍散や粉碎指示、不均等分割など処方時に気をつけることや、調剤内規について説明した内容となっている。 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <p>医師、看護師のリスクマネージャーに対し、各所属での手順実施状況を確認し薬剤部へ報告。薬剤部においても、まとめて確認を実施した。</p> 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)： <p>進行性多巣性白質脳症に対する塩酸メフロキン錠の適用外使用。脳神経内科から申請があり承認された。最初の3日間は1日1錠(275mg)、以降は週に1回1錠で内服。令和5年1月24日から内服を開始し、9月現在も継続投与中である。</p> ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>病棟担当薬剤師や調剤室の薬剤師から得られた情報や、医療サービス課からの査定情報、厚生労働省およびPMDAからの通知や医薬品安全情報などから情報を入手し、必要に応じて医薬品情報管理係よりDIニュース等で薬剤部から情報を発信している。また、未承認等の医薬品の使用については、病棟薬剤師や調剤室から得た情報は医薬品情報管理係へ集まり、未承認等の医薬品の審査を所管する医療安全推進室と情報を共有している。</p> 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年38回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1. 新規・中途採用職員研修 9件 2. 新規導入機器研修 14件 3. 特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる機器研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人工心肺、補助循環装置 2件 ・ 人工呼吸器 2件 ・ 血液浄化装置 2件 ・ 除細動器 2件 ・ 閉鎖式保育器 2件 ・ 診療用高エネルギー放射線発生装置 2件 ・ 診療用放射線照射装置 3件 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>人工心肺関連機器（補助循環装置）人工呼吸器、透析関連機器、除細動器（AED含む）、閉鎖式保育器、電気メス、麻酔器、高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置、CTエックス線装置（医用X線CT装置）磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）の定期点検の実施（生命維持管理装置と放射線装置に関してはメーカーによる点検を実施）</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療安全推進室とともに、PMDAや日本医療機能評価機構・医療機器センターからの回収情報、インシデント情報、業者からの報告情報を収集し、院内職員への注意喚起、情報共有を行っている</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理部門 医療安全推進室から報告</p> <p>・医療安全管理委員会 同委員会の副委員長</p> <p>・医薬品安全管理責任者 医薬品安全管理会議を所管</p> <p>・医療機器安全管理責任者 特定機能病院における医療機器関連の保守点検の計画・実施の報告を行う。医療機器安全管理会議の報告をする</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (8名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>緊急性が高いイエローレターやブルーレターの場合には医局長にメールなどで連絡し、迅速に周知するようにしている。また、医薬品情報管理係にて病棟薬剤師からの副作用等の情報を入手、電子カルテデータや医事データからは使用量や査定情報を入手、ヒヤリハット報告などの情報を取得し、必要に応じて医薬品情報管理係よりD I ニュース等で薬剤部から情報を発信する。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>病棟薬剤師や調剤担当の薬剤師が情報を入手時、未承認等の医薬品を使用された医師に未承認新規医薬品等評価委員会を所管する医療安全推進室への申請を促し、医薬品情報管理係に情報を集約する。医薬品情報管理係は医療安全推進室と情報を共有し、審査で承認されたものは病棟薬剤師や調剤係など薬剤部内でも情報共有する。承認されたものについて、審査時に決定された期間または時期に実施報告としている。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有) ・無</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) ・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>：説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>：平成29年7月制定の「インフォームドコンセントマニュアル」で定めた方法により、説明・同意書が作成されているかの確認を、月1回開催している同意書等審議委員会において審議している。また、適切に実施されるよう医療従事者への指導等を実施した。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 各診療科別に、任意に抽出した患者の診療録の内容をチェックリストに基づき点検を行い、点検結果を診療科にフィードバックした。</p> <p>【指導内容の主な内容】</p> <p>・同意書に関して、内容の精査と院内統一フォーマットを使用し患者さんに分かりやすい説明を行うよう促した。</p> <p>・インフォームドコンセントでは、患者からの質問と回答の記載、術後 IC の記載が少ないため記載するよう促した。また、院内の定型フォーマットの使用を推奨し他の選択肢等についての記載も促した。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（7）名、専任（ ）名、兼任（2）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> （1） 医療安全管理のための基本方針の策定及び変更に関すること。 （2） 医療事故及びインシデントに関する診療録及び看護記録等の記載事項の確認と指導に関すること。 （3） 医療事故等の発生時における患者又は家族等への対応状況の確認及び指導に関すること。 （4） 医療事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認と必要な指導に関すること。 （5） 医療事故等の分析と安全管理に係る改善策に関すること。 （6） 医療事故等の改善策の実施状況の評価、再発防止に向けての検討に関すること。 （7） 医療安全に係る情報提供及び連絡調整に関すること。 （8） 患者等や職員からの医療・診察の安全に関する相談及び連絡調整に関すること。 （9） リスクマネージャーによる医療安全推進活動に関すること。 （10） 肺血栓塞栓症予防体制の確立に向けた活動に関すること。 （11） 呼吸サポートチームの活動の調整、記録物等の保管に関すること。 （12） 医薬品安全管理に関すること。 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（13件）、及び許可件数（13件）</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に申請診療科より申請概要のヒアリングを実施し、留意事項を伝達、十分な準備を求める ・申請書や説明同意書等の記載文案等について、内容の不備等を検証 必要に応じ改善要請 ・評価委員会での審議の後、評価部会議でも再審議を実施 必要に応じ改善要請 ・承認後は症例報告や関連部署からの実施（予定）情報等に基づき、モニタリングを実施 <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ）
<p>⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（19件）、及び許可件数（19件） ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ） ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ） ・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・事前に申請診療科より申請概要のヒアリングを実施し、留意事項を伝達、十分な準備を求める <ul style="list-style-type: none"> ・申請書や説明同意書等の記載文案等について、内容の不備等を検証 必要に応じ改善要請 ・評価委員会での審議の後、評価部会議でも再審議を実施 必要に応じ改善要請 ・承認後は症例報告や関連部署からの実施（予定）情報等に基づき、モニタリングを実施 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ） ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ）
<p>⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 619 件（令和 4 年度） ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 134 件 ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 インシデント、アクシデント報告のうち重大事案について概要及び所属カンファレンスで検討した改善方策について評価・審議し、審議結果を所属にフィードバック。更に、分析・対策検討会議からの再発防止策の立案、実行、検証見直しに関する報告を評価・審議。
<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の特定機能病院等への立入り（ <input checked="" type="checkbox"/> （病院名： 長崎大学 ） ・無） ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ <input checked="" type="checkbox"/> （病院名： 筑波大学 ） ・無） ・技術的助言の実施状況 ・医療安全研修の理解度について、理解度の低い職員や認識の低い職員にアプローチする必要がある。 これについて、研修受講率 100%を目指し、理解・認識度の低い職員に対し受講要請を定期的に行う ・医療安全管理部門に業務が集中しないように、医薬品や医療放射線や医療機器の責任者が参画し役割分担で適正な監査を検討する
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>

・体制の確保状況

総合相談窓口（医療相談室 相談係）、患者・家族支援室

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

「医療安全と臨床倫理」「医療紛争に備える」「インシデント報告（CLIP）①操作方法」「インシデント報告（CLIP）②集計報告」「呼吸数測定的重要性」の5テーマを設定し、e-ラーニング形式で開催。5テーマのうち、2テーマ以上を受講で受講完了。

受講対象者 2187 名中受講完了者 2180 名、受講完了率 99.7%（2021 年度 98.4%）となった。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者・医療安全管理責任者・医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、2022 年度特定機能病院管理者研修を受講済。

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

機能評価 2022 年 10 月 一般病院 3（3rdG：Ver2.0）受審

医療安全監査委員会（外部監査）

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

医療安全・質向上のための相互チェック及び特定機能病院間相互のピアレビュー実施

・評価を踏まえ講じた措置

・医療安全・感染対策・医療情報等について指摘があり、各項目について改善に取り組んでいる。

2024 年 2 月に再度確認審査を受審予定。

・1 回目の委員会での指摘、助言に対して 2 回目の委員会で措置内容を報告

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1 臨床研修等修了医師であること 2 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有していること 3 人との信頼関係を重視し、社会規範、コンプライアンスを遵守できること 4 奈良県立医科大学附属病院の理念を実現するための熱意、戦略、実行力と将来ビジョンを有す 5 組織管理能力等の当院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有していること 6 法人の運営について、他の役員と一致団結して、公立大学法人奈良県立医科大学の発展に貢献 7 医療従事者の新しい働き方についてリーダーシップを発揮できること 8 臨床研究を推進するための戦略と実行力を有すること ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 大学Webサイトに掲載する方法により公表している。 奈良県立医科大学附属病院長選考基準 (2021年度実施時) https://www.naramed-u.ac.jp/university/oshirase/reiwa1nedo/byouinchou_senkou_2022.html

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input type="checkbox"/> 有・無
<p>・合議体の主要な審議内容 医療法施行規則（平成30年厚生労働省令第70号）第9条の23の規定にかかる特定機能病院の管理・運営に関する重要な事項及び病院経営・運営方針等院務に関する重要な事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況 院内全所属の所属長が委員であるので、所属に持ち帰って周知を行う。 加えて、実務を担当している医局長が参加する医局長会でも、運営協議会での審議内容を議題とすることにより、広く周知を図っている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・<input type="checkbox"/>無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input type="checkbox"/>無）</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
吉川 公彦	○	医師	附属病院長
彦惣 俊吾		医師	診療科部長
室 繁郎		医師	副院長・診療科部長
吉治 仁志		医師	診療科部長
笠原 敬		医師	診療科部長
杉江 和馬		医師	診療科部長
庄 雅之		医師	副院長・診療科部長
中川 一郎		医師	診療科部長代理
細野 光治		医師	診療科部長
田中 康仁		医師	診療科部長
桐田 忠昭		医師	診療科部長
木村 文則		医師	診療科部長
緒方 奈保子		医師	診療科部長
野上 恵嗣		医師	診療科部長
牧之段 学		医師	診療科部長代理
浅田 秀夫		医師	診療科部長
藤本 清秀		医師	副院長・診療科部長
北原 糺		医師	診療科部長
田中 利洋		医師	診療科部長
磯橋 文明		医師	診療科部長

川口 昌彦		医師	診療科部長
福島 英賢		医師	診療科部長
吉本 清巳		医師	診療科部長代理
桑原 理充		医師	診療科部長
城戸 顕		医師	診療科部長
吉澤 明彦		医師	診療科部長
澤端 章好		医師	診療科部長
鶴屋 和彦		医師	診療科部長
高橋 裕		医師	診療科部長
武田 真幸		医師	診療科部長
松本 雅則		医師	診療科部長
山崎 正晴		医師	中央診療施設の長
美登路 昭		医師	中央診療施設の長
小山 文一		医師	中央診療施設の長
玉本 哲郎		医師	中央診療施設の長
西久保 敏也		医師	中央診療施設の長
四宮 敏章		医師	中央診療施設の長
山岸 正明		医師	中央診療施設の長
丸上 永晃		医師	中央診療施設の長
倉田 主税		臨床検査技師	中央診療施設の長
西村 努		診療放射線技師	中央診療施設の長
畠中 利英		歯科技工士	中央診療施設の長
池田 和之		薬剤師	中央診療施設の長
石飛 悦子		看護師	副院長・看護部長
吉川 雅則		医師	栄養管理部長
赤井 靖宏		医師	臨床研修センター長
笠原 正登		医師	臨床研究センター長
辰巳 満俊		医師	医療安全管理者
今村 知明		医師	法人特命企画官
宇都宮 弘和		事務	理事（総務・経営）
藤田 和成		事務	事務長
樋口 浩史		事務	課長
村井 裕司		事務	課長
岩本 正彰		事務	課長
瀬川 直樹		事務	室長
上野 聡		事務	課長
鷹堅 覚		事務	課長
鉄村 仁		事務	課長
吉村 雅則		事務	室長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法
学内専用サイトに掲載して従業者が確認できるように周知している。
- ・ 規程の主な内容

奈良県立医科大学附属病院長職務規程 (職務権限)

第2条 附属病院長は、次の各号に定める職務を行う。

- (1) 病院の経営に関する事
 - (2) 病院の管理運営に関する事
 - (3) 病院の人事に関し、理事長に上申すること
 - (4) 病院職員の資質向上のために必要な研修に関する事
- 2 附属病院長は、病院における全ての業務を総括し、その責任を有する。

公立大学法人奈良県立医科大学会計規程施行細則

- 2 理事長の事務の委任（規程第3条関係）理事長の事務の委任を受ける者、範囲及び権限は別表1のとおりとする。 →別表1を添付します。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副院長：病院長の補佐

事務長：病院長の下、病院事務を統括

院長ガバナンス支援タスクフォース：関係部署による病院長ガバナンス強化のサポート

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

診療情報管理士の資格取得の支援

法人職員の県派遣実務研修の実施

国立大学法人の研修に参加

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容： 医療安全管理に係る事項を監査し、是正措置を講ずるよう意見具申を行う。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無）</p> <p>・ 公表の方法：本学ホームページにおいて一般に公開</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
水本 一弘	和歌山県立医科大学	○	和歌山県立医科大学附属病院医療安全推進室長であり、医療にかかる安全に関する識見を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
加藤 高志	加藤高志法律事務所		医療に関する訴訟経験が豊富であり、法律に関する識見を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
松井 忠昭	ボランティアグループ		病院の状況への理解が深く、医療を受ける側の立場からの客観的意見を得られるため。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
書面により会計等に係る監査を実施
- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (有 ・)
- ・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 役員会では、附属病院の予算決算等の管理運営に関する審議事項があり、理事長（開設者）が病院業務に関与して監督している。 ・ 会議体の実施状況（ 年38回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年38回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・<input checked="" type="checkbox"/> ） ・ 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年0件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 窓口の公表

公立大学法人奈良県立医科大学会計規程施行細則
別表1 事務委任の範囲等(「3 会計管理者」関係)

支出		権限区分							摘要
		理事長	会計管理部門			執行部門			
項目	経費の種別		会計管理者 (総務・経営担当理事)	会計管理者の一部事務受任者 (法人企画部長)	会計管理者の一部事務委任者 統括会計員 (財務企画課長)	予算責任者 (総務・経営担当理事) (教育・研究担当理事) (医療担当理事)	統括経理責任者 (法人企画部長) (病院経営部長)	経理責任者 (各課・室長等)	
予算執行承認権限 (購入依頼書又は事業執行伺書等)	備品(工具・器具及び備品、備品費など)	法人の運営・経営に重大な影響を及ぼす執行など会計管理者が理事長の承認を必要と判断する場合	5,000万円以上	1,000万円以上5,000万円未満	100万円以上1,000万円未満	500万円以上1,000万円未満	100万円以上500万円未満	100万円未満	1. 公立大学法人奈良県立医科大学契約規程第22条第1号及び第7号の規定に基づき、随意契約しようとする場合にあっては、支出契約と併せて予算執行承認を行うことを可とする。(細則18(1)) 2. 予算責任者及び統括経理責任者で承認されるものについては、統括会計員の確認が必要
	施設・設備整備(修繕に属するものを除く)		5,000万円以上	1,000万円以上5,000万円未満	100万円以上1,000万円未満	500万円以上1,000万円未満	100万円以上500万円未満	100万円未満	
	報酬謝金費、報償金、報償金、食糧費、交際費、補助金、助成金		100万円以上	○	30万円以上100万円未満	30万円以上100万円未満	30万円以上100万円未満	30万円未満	
	寄附、賠償		すべて	○	○	○	○	○	
	人件費		すべて	○	○	○	○	○	
	資金運用(有価証券の取得等)		すべて	○	○	○	○	○	
その他の支出		5,000万円以上	1,000万円以上5,000万円未満	100万円以上1,000万円未満	500万円以上1,000万円未満	100万円以上500万円未満	100万円未満		
支出契約決議承認権限 (支出契約決議書等)	備品・施設整備	-	-	-	100万円以上	-	100万円以上1,000万円未満	100万円未満	経理責任者に承認権限のあるものについては、簡易な方法により支出契約決議の承認を行うことを可とする。(細則19(3))
	上記以外全て	-	-	-	100万円以上	-	100万円以上1,000万円未満	100万円未満	
債務確認等承認権限 (債務計上一覧表、経費精算書、立替経費精算書、仮払申請書、仮払精算書、予算執行振替伝票)	すべて	-	-	-	すべて	-	-	○	

(注1) 単価契約については、予定単価に執行見込み件数を乗じて算出される金額を持って承認権限を区分する。

(注2) 複数年契約については、1力年の価格ではなく、契約期間総額を持って承認権限を区分する。

(注3) 予算執行の承認権限は、執行価格ではなく、予定価格を持って区分する。

(注4) 軽微なものについては、公立大学法人奈良県立医科大学事務決裁規程第5条に規定する代決者が、上記に記載するそれぞれの承認権限者から委任を受け代理で承認することができるものとする。この場合あらかじめ承認権限者と代決者が委任する範囲を協議しておくこと。

収入		権限区分							摘要
		理事長	会計管理部門			執行部門			
項目	経費の種別		会計管理者 (総務・経営担当理事)	会計管理者の一部事務受任者 (法人企画部長)	会計管理者の一部事務委任者 統括会計員 (財務企画課長)	予算責任者 (総務・経営担当理事) (教育・研究担当理事) (医療担当理事)	統括経理責任者 (法人企画部長) (病院経営部長)	経理責任者 (各課・室長等)	
債権発生の前提となる 契役、申出の受諾、申請等の承認	寄附金	○	○	○	○	○	○	○	1,000万円未満で、予算責任者名での契約等が可能なもの
	寄附金以外全て (理事長名で契約等を行う場合)	-	すべて	○	○	○	○	○	
	寄附金以外全て (予算責任者名で契約等を行う場合)	-	-	-	○	統括経理責任者が必要と判断する場合	○	○	
債権の計上、入金の確認 (債権計上一覧表、(予算執行)振替伝票、入金実績リスト)	授業料(自動引落分)、診療収入など(振替伝票処理分)	-	-	-	すべて	-	-	○	
	上記以外全て (債権計上一覧表、入金実績リスト処理分)	-	-	-	すべて	-	-	○	